

日本人形の伝統技法と  
モダンアートの融合

# 与左右衛門 Yosouemon 人形アートの世界

2026.9.3|木| — 10.3|土|

※9月21日(月)～9月23日(水)は、休館となります。

平成記念美術館 ギャラリー

Heisei Memorial Art Gallery

開館時間 10:00-18:00 | 日曜・祝日休館 | 観覧無料

主催：株式会社 平成建設

人形の美しく艶やかな髪、<sup>ごふん</sup>胡粉仕立ての品格ある肌の質感、作家自らの繊細な刺繍やデザインが施された着衣。また一転して、人形に描画を施したシンプルにして含みのある深い表現。日本人形の伝統技法を取り入れながら独自の技法を創出。一方で、日本画仕立ての屏風やタペストリーを、時に金・銀箔を施し、時に岩絵の具や墨を用いて制作。そして、その平面作品と人形との「融合」を織り成す空間構成。この神秘的な世界観をご覧いただける「人形アート」展です。伝統技法と新たな素材への探求、そして遊び心が一体となった与左右衛門ワールドを、心ゆくまでお楽しみください。



 平成建設

「炎の精」 天空の物語より

## 様々な素材・技法を織り交ぜた、ドラマティックな空間構成

作家の「与左右衛門（よそうえもん）」という名前は、新潟県十日町市にある生家の屋号が名付けの由来となっています。

十日町市が織物産業の町であったことから、幼少期に身の回りにあった織り糸や泥で人形を作って遊んだ記憶。

10代で模索し、中央大学文学部哲学科（在3年）を経たのち、東京藝術大学で学んだ日本画の世界。

そのすべてが、今の作家の、様々な素材と技法を織り交ぜた作品づくりへとつながっています。

鮮やかな色彩、素材の質感一つひとつがきらめく、ドラマティックな空間構成を、じっくりとお楽しみください。



折り



ねがわくは



遊戯

### 作家紹介

## 与左右衛門 Yosouemon

### 【略歴】

新潟県出身・東京藝術大学 日本画専攻 大学院後期博士課程 修了

2001 個展「十二支の神々」(お茶の字画廊)

2003 個展「十二支の神々と小作品展」(横浜人形の家)

2008 個展「天空の物語」(銀座・スパンアートG)

「人形師10人展」(松江・一畑百貨店)

2012 アートエキスポ展(ニューヨーク)・帰国展(丸善ギャラリー)

2013 「寿三郎と11人の作家展」(丸善ギャラリー)

2014 「彫刻アニマルパーク展」(日本橋三越本店) 以後毎年末の干支展

2015 「ニューヨークエイト展(現・現代手工芸展)」招待(東京都美術館) 以後毎年出品(～2025)

2016 「シェイクスピア没後400年展」(早稲田スコットギャラリー)

他 グループ展等多数、日本画制作と並行して人形制作

現在 現代手工芸作家協会名誉会員



株式会社平成建設 世田谷支店併設

## 平成記念美術館 ギャラリー

Heisei Memorial Art Gallery

〒156-0053 東京都世田谷区桜 3-25-4

TEL.03-3426-1103

【開館時間】10:00～18:00 【観覧料】無料

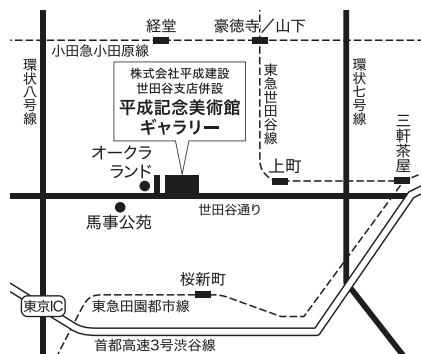
【休館日】日曜日・祝日

<https://www.heiseikensetu.co.jp/gallery/>

【電車】東急世田谷線 上町駅より徒歩10分

【バス】渋谷駅バス停 4番乗り場「成城学園前駅西口」行

渋24(東急バス)「大蔵ランド前」下車 徒歩1分



### 次回展のお知らせ

日本藝術院会員就任記念

三田村有純漆藝展 ～天・地・命・漆～

2026年10月15日(木)～11月26日(木)

※スケジュールは予定のため、変更になる場合があります。



平成記念美術館 ギャラリー  
公式アカウント  
@heisei\_artgallery

